

2019年2月20～21日朝①

2.19 国会前行動続報、改憲策動、自衛隊・米軍、野党共同・政局、沖縄

しんぶん赤旗 2019年2月20日(水)

辺野古新基地許さぬ 国会正門前 雨突き3000人 山下副委員長「世論大きく」



(写真) 辺野古の

海に土砂を投入するなとコールする人たち＝19日、国会正門前
沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設断念、土砂投入の即時中止、米軍普天間基地の即時返還、安倍9条改憲の阻止を掲げた集会が19日、国会正門前で行われました。大粒の雨が降るなか、「うそつき首相は辞めろ」などのプラカードを手にした参加者3000人（主催者発表）がかけつけ、「辺野古新基地建設絶対反対」「土砂の投入今すぐ中止」と声をあげました。

総がかり行動実行委員会、安倍9条改憲NO！全国市民アクション、「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会が主催しました。

「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」の山本隆司事務局長、武蔵大学の千田有紀教授、聖学院大学の石川裕一郎教授、国会包囲実行委の野平晋作さんが連帯あいさつしました。

山本氏は「24日の県民投票で圧倒的な民意を示します。全国と連帯して最後までたたかいます」と語り、参加者は大きな拍手で応えました。

日本共産党、立憲民主党、国民民主党、自由党、参院会派「沖縄の風」の議員が参加。共産党の山下芳生副委員長（参院議員）は、埋め立て予定地は超軟弱地盤が存在し、玉城デニー知事がいる限り、新基地はできないと強調。県民投票について、「土砂で民主主義を埋め立てることはできない。“新基地は許さない”の大きな世論を巻き起こそう」と呼びかけました。

自衛隊エピソードは空自幹部の息子 安倍首相明かす

毎日新聞 2019年2月20日 17時21分(最終更新 2月20日 18時02分)

安倍晋三首相は20日の衆院予算委員会で、憲法への自衛隊明記に絡んで、自身がかつて紹介した、自衛官が息子から涙ながらに「お父さん、憲法違反なの」と尋ねられたとのエピソードについて「防衛省担当の首相秘書官を通じて、航空自衛隊の幹部自衛官から聞いた話だ」と明かした。

首相は「これ以上詳しいことは自分と息子と学校の先生にかかわるので述べないでほしいと、(幹部自衛官から)言われている」として詳細には言及しなかった。立憲民主党の本多平直氏への答弁。13日の予算委では本多氏がエピソードは実話か質問したの

に対し「実話だが、防衛省から聞いた話」と述べるにとどめていた。【影山哲也】

首相「協力ではない」自衛官募集 野党「自治体34%、名簿作成」

東京新聞 2019年2月20日 夕刊

衆院予算委員会は二十日、安倍晋三首相と関係閣僚が出席し、外交防衛などに関する集中審議を行った。六割以上の自治体が自衛官募集への協力を拒否しているとした首相発言を巡り、立憲民主党の本多平直氏は協力している四割に加え、34%の自治体は適齢者名簿を作成して協力していると指摘。首相は「いわゆる私どもが求めている協力ではない」として、協力しない自治体に含まれるとの考えを示した。(村上一樹、清水俊介)

本多氏は全国の千七百四十一の市区町村のうち、名簿を提出している36%のほかにも「33・7%の五百八十七自治体の職員は忙しい中、(適齢者を)抽出している。これは協力ではないか」と聞いた。

首相は「(自治体による)抽出作業は確かに手間がかかる」と認めたが、「抽出するのであれば、書面あるいはデジタルで出してもらったほうが早い」と名簿を提出するよう求めた。名簿提出に関しては、個人情報保護の観点から難色を示す自治体も多い。

岩屋毅防衛相は自衛官募集での住民基本台帳の閲覧について「数十万件の膨大な情報を書き写している。負担も非常に大きい」と強調、自治体の協力を引き続き求めるとした。

本多氏は防衛相から自治体への協力要請の内容が分かりづらいと指摘。「募集広報の協力など十七項目あり、(名簿提供の要請は)その中の『十一』番目に入っている。新聞の取材に『頼まれた覚えがない』とたくさんの自治体がコメントしたのはそのためだ」と話した。

首相は「役所は前例をずっと踏襲しているところが多い」とした上で、「(自衛隊違憲論の)空気を変えるためにも、私の問題意識を示させてもらった」と強調した。

首相は、米朝首脳再会談を来週に控えたトランプ米大統領と二十日、電話協議を行うと明らかにし、「北朝鮮の核、ミサイル、何よりも重要な拉致問題への解決に向け、密接に方針をすり合わせたい」と話した。

首相は「拉致問題解決に向けた考え方をしっかりトランプ大統領に話し、それを金正恩(朝鮮労働党)委員長に伝えてもらいたい」と発言。「(被害者の)ご家族の積年の思いを胸に、何としても安倍内閣で解決する、あらゆるチャンスを逃すことなく、果敢に行動していく」とあらためて決意を示した。

5 野党幹事長、1人区一本化へ協議＝参院選

時事通信 2019年02月20日 19時15分



会談に臨む(左から)自由党の森裕子幹事長、共産党の小池晃書記局長、立憲民主党の福山哲郎幹事長、国民民主党の平野博文幹事長、衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」の玄葉光一郎幹事長、社民党の吉川元幹事長＝20日午後、国会内

立憲民主、国民民主、共産、自由、社民5党の幹事長・書記局長が20日、国会内で会談し、夏の参院選に向けて32ある改選数1の「1人区」での候補者一本化協議を行った。今後、隔週ペースで協議を進め、調整が付いた選挙区から順次発表することで合意した。

野党共闘を後押しする団体「市民連合」と各党が個別に政策協議を進める方針も確認。参院選に合わせた衆院解散の可能性も視野に、緊密に情報交換していくことでも一致した。

1人区では、立憲と国民が各6人、共産が23人の擁立を決めており、群馬、岐阜、滋賀、岡山など12選挙区で野党系が競合。統一候補のめどが立っているのは熊本、大分の2選挙区にとどまる。

立憲、国民、共産3党が競合する滋賀では、前滋賀県知事の嘉田由紀子氏を野党統一候補にする方向で調整している。野党空白区だった岩手では自由が主導して共産、社民と新人擁立を発表、他党にも同調を呼び掛けている。

1人区一本化調整を加速、参院選 野党6党派

2019/2/20 22:21 共同通信社

立憲民主、国民民主、共産などの野党6党派の幹事長・書記局長が20日、国会内で会談し、夏の参院選の勝敗を左右する改選1人区での候補者一本化に向けて調整を急ぐ方針を確認した。各党間の協議に関し、これまでの地方組織から党本部レベルに格上げし、5月中の合意を目指す。

会談では、党本部レベルで2週間に1回程度、協議し、一本化で合意した候補者を迅速に公表するとした。参院選に合わせた衆参同日選に備え、緊密に情報共有することも申し合わせた。共産党は野党間で相互支援・推薦を求めており、各党の支援の在り方も今後、調整する見通し。

参院選 野党一本化へ協議開始…6党派幹事長ら 共産との調整焦点

読売新聞 19/02/21/05:00

立憲民主、国民民主、共産など野党6党派の幹事長・書記局長が20日、国会内で会談し、夏の参院選で32ある改選定数1の「1人区」で候補者を一本化する選挙協力に向け、初の協議を行った。既に多数の候補者を擁立している共産と各党との調整が付くかどうか焦点だ。

1人区では、立憲と国民がそれぞれ4選挙区、共産が23選挙区で公認候補を擁立している。立憲・国民間の競合はないものの、両党が候補を擁立した8選挙区すべてで共産と候補者がぶつかっている状況だ。残りの選挙区でも、一本化のメドがついているのは大分、熊本など一部にとどまる。

この日の会談では、2週間に1回の頻度で協議し、調整のついた選挙区から公表する方針を確認した。安全保障関連法廃止を掲

げる「市民連合」と各党派が政策協議を進めることや、衆参同日選も念頭に緊密に意見交換していくことでも一致した。

共産は2016年参院選で、自主的に候補者を取り下げた。しかし今回は、野党間での相互推薦・相互支援を条件に挙げ、一方的な取り下げ要求は拒否する構えだ。小池書記局長は20日の記者会見で「共産党は最後は降ろすなどと期待していたら大失敗する」と他党をけん制した。

立憲と国民の選挙協力に関する温度差も、一本化協議の障害となる可能性がある。複数区を巡り、国民は候補者の一本化を求め

せさたくま

ているが、立憲は「切磋琢磨する」(枝野代表)として調整を行わない方針だ。

国民の玉木代表は20日の記者会見で、「16年参院選に比べれば遅れているかもしれないが、遠くないうちに(統一候補を)しっかり擁立したい」と語り、協議を急ぐ構えだ。これに対し、立憲幹部は当面は統一地方選に注力したいとし、「全ての協議が終わるのは5月の連休明けだ」と交渉の長期化を予想している。

野党6党派、「衆参同日選」警戒で情報共有

日経新聞 2019/2/20 19:20

立憲民主党など野党6党派の幹事長・書記局長は20日、国会内で会談し、夏の参院選に合わせて衆院解散・総選挙をする衆参同日選を視野に入れ、情報共有する方針を確認した。衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」の玄葉光一郎幹事長が提案し、各党が同意した。国民民主党は22日から4月を期限に次期衆院選の候補の公募を始める。

参院選1人区、自民は擁立完了 野党「統一候補」遅れ

2019/2/21 2:00 情報元日本経済新聞 電子版

夏の参院選に向けて与野党が準備を急いでいる。自民党は全国45選挙区すべてで候補者の擁立を終えた。勝敗のカギを握る改選定数1の32の1人区のうち11選挙区を「激戦区」に指定し、選挙対策委員会の幹部に担当を割り振り陣頭指揮をとらせている。野党6党派は1人区での候補一本化をめざしているが、擁立は2016年の前回参院選に比べて遅れ気味だ。

1人区は与野党候補が1対1で直接対決する構図になる場合が多い。と…

票を食われる共産…「共闘勝利」「党躍進」両立できぬジレンマ 野党6党派、1人区調整に着手

産経新聞 2019.2.20 21:01



参院選に向けた協議に臨む立

憲民主党の福山哲郎幹事長(左から3人目)ら野党6党派の幹事長ら＝20日午後、国会内(春名中撮影)

立憲民主、国民民主、共産など主要野党6党派は20日、国会

内で幹事長・書記局長会談を開き、夏の参院選改選1人区での候補一本化の協議に着手した。過去2回の国政選挙で一方的に候補を降ろした共産党は、次の参院選から「相互推薦・支援」を導入することを訴えており、共産党との直接協力を避けたい立憲民主党などとの神経戦が本格化することになる。

20日の会談では、2週間に1回のペースで会談を開催し、調整がついた選挙区をその都度発表することを決めた。過去の国政選挙で野党共闘を後押しした「市民連合」と各党派の間で政策協定締結に向けた議論を始めることや、衆参同日選挙の可能性を視野に協議を進めることも確認した。

焦点になるのは協力の形式だ。これまでの候補者調整は、政党間の協議を経ない「阿吽（あうん）の呼吸」によるものだった。これを相互推薦へと深化させることで「本気の共闘」が実現するというのが共産党の主張だ。

同党の小池晃書記局長は20日の会談で、相互推薦の必要性を重ねて訴えた上で「一定の選挙区では共産党の候補者も立てて戦う選挙にしたい」と表明した。

こうした方針を掲げたのは「片務的」な選挙協力に限界を感じたからでもある。平成26年の衆院選で約606万票（得票率11.4%）だった共産党の比例代表獲得票は、29年の衆院選では約440万票（同7.9%）にまで目減りした。対照的に立憲民主党の29年の得票は約1108万票（同19.9%）に達し、26年の旧民主党の約977万票（同18.3%）を上回った。共産党の票が立憲民主党などの共闘勢力に流れていることは明らかだ。

「共闘勝利と党躍進」。共産党がこんな2つの目標を掲げるのは、両者が両立できていないことへの焦りの裏返しにほかならない。

立憲民主党や国民民主党は安全保障政策などに関し共産党と溝を抱える。相互推薦には踏み込まずに、共産党との距離感を保ちつつ自らの議席を積み増すことができる従来の協力形式を続けたのが本音だ。

両党幹部らの中には、共産党は最終的に「阿吽の呼吸」のすみ分けを容認するとの楽観論も漂うが、同党は譲る気配を見せない。

「『共産党は最後は降ろす』と期待していたら大失敗しますよ」

小池氏は20日の会談後の記者会見で、他党をこう牽制（けんせい）した。（松本学）

野党6党派 参院選1人区の本化で速やかな調整を確認

NHK2019年2月20日 20時10分



夏の参議院選挙に向けて立憲民主党など野党6党派の幹事長・書記局長が会談し、与党側を利することがないよう、全国に32ある1人区で候補者を一本化するため、速やかに調整を進める方針

を確認しました。

立憲民主党、国民民主党、共産党、自由党、社民党、衆議院の会派「社会保障を立て直す国民会議」の幹事長・書記局長が会談し、夏の参議院選挙に向けた対応を協議しました。

そして、与党側を利することがないよう、全国に32ある定員が1人の1人区で候補者を一本化するため、速やかに調整を進める方針を確認しました。

また、衆参同日選挙が行われることも想定して、野党6党派で意見を交わしていくことでも一致しました。

立憲民主党の福山幹事長は記者団に対し、「今後、2週間に1回ほど精力的に会談し、調整できた選挙区はそのつど発表していきたい」と述べました。

野党5党幹事長 1人区の候補者一本化調整へ

ANN2019/02/20 23:24

野党5党の幹事長は夏の参議院選挙に向けて1人区での候補者一本化に向けた協議を始めました。

立憲民主党・福山幹事長：「32の1人区の調整については速やかにスムーズに調整作業に入ることとする。同日選を十分、視野に入れてこの会談を開催し、それぞれに意見交換、情報共有しながら進めていく」

立憲民主党や国民民主党など5党1会派の幹事長らが会談し、衆参同日選挙の可能性も視野に入れて32ある1人区の候補者調整を速やかに進めることで合意しました。また、市民連合との政策協議についても各党で議論を始めることを確認しました。今後、2週間に一度、協議する方針ですが、すでに複数の1人区で野党候補が競合していて調整は難航しそうです。

猪木氏が国民民主党会派入り 当面は野党第1勢力に

2019/2/20 20:44 共同通信社



アントニオ猪木参院議員

無所属のアントニオ猪木参院議員（76）＝比例＝が国民民主党会派に入ることが20日分かった。複数の党関係者が明らかにした。参院で立憲民主党と国民の会派勢力は27議席と同数。国民は同日、藤田幸久参院議員（茨城選挙区）を除籍（除名）処分とする方針を決めたが、正式決定にはさらに時間がかかるため、国民が当面、与党との交渉役である野党第1会派となる見通しだ。

藤田氏の処分は、党倫理委員会での審議を経て正式決定する。国民は正式決定まで会派離脱を認めない方針だ。藤田氏が離脱して立民会派入りすれば、立民が野党第1会派になる。

参院 野党第1会派争い続く…国民・立民 調査会長判断巡り

読売新聞 19/02/20

参院の野党第1会派をめぐる立憲民主党と国民民主党の対立が収まらない。参院の国民生活・経済調査会では、国民の増子輝彦会長が20日開催を会長権限で決め、立民が猛反発する事態となっている。

参院には委員会とは別に、三つの調査会がある。いずれも法案審議は行わず、長期的課題を扱う。国民生活・経済調査会は、増子氏が参院第2会派の民進党時代に会長に就き、今に至っている。

現時点で立民と国民の会派所属議員はいずれも27人で並んでいる。しかし、国民の藤田幸久氏は立民入りのため、離党届を提出した。藤田氏が離党すれば、立民は単独で第2会派になるとして会長ポストを要求している。

このあおりで、昨年末に与野党が合意していた13日の参考人質疑は見送りとなった。

19日の理事懇談会でも、立民が「開催は受け入れられない」と20日の参考人質疑に反対したが、増子会長は「開催すべきだ」という意見が多数だ」と押し切った。

野党の泥仕合に、与党は冷ややかな目を向けている。自民党の関口昌一参院国会対策委員長は19日の記者会見で「一日も早く野党第1会派を決めてほしいというお願いをしている」と語った。

国民 藤田氏を除籍へ 立民・社民が参院の野党第1会派に NHK2019年2月20日 19時01分



国民民主党の総務会が開かれ、立憲民主党に入党したいとして離党届を提出していた藤田幸久参議院議員を除籍処分とする方針を決めました。藤田氏が立憲民主党の会派に加われば、参議院で立憲民主党と社民党の統一会派が野党の第1会派になる見通しです。

参議院茨城選挙区選出で、ことし改選を迎える国民民主党の藤田幸久氏は、立憲民主党に入党したいとして党に離党届を提出しています。

国民民主党は20日の総務会で、離党届の扱いを協議した結果、党の結束を乱す行為に当たるとして受理せず、藤田氏を除籍処分とする方針を決めました。

藤田氏の処分は、今後、党の倫理委員会での協議を経て正式に決まる見通しです。

一方、国民民主党の玉木代表は20日夜、記者団に対し、無所属のアントニオ猪木参議院議員が国民民主党と自由党の統一会派に加わるという見通しを示し、「仲間が増えることは喜ばしい」と述べました。

参議院では現在、国民民主党と自由党、立憲民主党と社民党がそれぞれ結成した統一会派の所属議員が同じ数です。

このため、アントニオ猪木氏が国民民主党と自由党の統一会派に加わっても、藤田氏が会派を抜けて立憲民主党の会派に加われば、

立憲民主党と社民党の統一会派が1人多くなり、参議院で野党の第1会派になる見通しです。

空自F2墜落、乗員救助＝接触なし、訓練中トラブルカー山口沖 時事通信 2019年02月20日 17時52分



航空自衛隊のF2戦闘機＝2017年9月、青森県三沢市の三沢基地

20日午前9時20分ごろ、訓練飛行をしていた航空自衛隊築城基地（福岡県築上町）所属のF2戦闘機が、山口県沖の日本海上に墜落した。隊員2人が乗っていたが、緊急脱出後に救助され、いずれも命に別条はない。別の機体との接触や異常を知らせる通信は確認されておらず、急な機体の異常や操縦ミスなどのトラブルが原因の可能性がある。民間船などへの被害はなかった。

F2の墜落事故は初めてで、空自は事故調査委員会を立ち上げ調査を開始。緊急発進を除くF2の飛行を当面中止する。

空自によると、墜落した機体は2人乗りで、前席に20代の2等空尉、後席に30代の1等空尉が搭乗していた。2人は軽傷とみられるが、緊急脱出時には通常の10倍を超える重力の負荷がかかることされ、精密検査する。

同機は午前8時50分ごろ、他2機のF2と共に対戦闘機訓練のため築城基地を離陸。同9時20分ごろ、築城基地から北東約130キロの訓練空域の洋上で、救難信号の発出とともに墜落した。飛行前の点検で異常はなかった。

捜索に向かった空自機が約50分後、簡易式救命ボートに乗り、発煙筒をたき手を振っている乗員2人を発見した。空自などは機体の捜索を進めている。

空自戦闘機、山口沖洋上に墜落 訓練で搭乗の2人発見、意識あり

2019/2/20 13:42 共同通信社



航空自衛隊のF2戦闘機＝青森県三沢市

20日午前9時18分ごろ、山口県沖の日本海で、訓練飛行をしていた航空自衛隊のF2戦闘機1機が墜落した。空自が捜索し、洋上で搭乗員2人を発見、収容した。いずれも意識がある。空自は事故調査委員会を設置したほか、F2だけでなく、F15など全戦闘機の安全確認を始めた。

防衛省によると、F2は福岡県の築城基地所属。20日午前8時48分ごろ同基地を離陸し、計3機で対戦闘機を想定した訓練中

だった。同9時18分ごろ、F2の救難信号を確認。2分後にレーダーから機影が消えた。F2が訓練中に墜落するのは初めてという。

機影消失から約50分後に2人を発見、目立った外傷はない。

F2、訓練開始間もなく墜落か 搭乗員2人命に別条なし

2019/2/20 18:52 共同通信社



山口県沖の日本海に浮かぶ墜落した空自のF2戦闘機の機体の一部＝20日午後3時3分（共同通信社ヘリから）

山口県沖の日本海に墜落した航空自衛隊築城基地（福岡県）所属のF2戦闘機は、ほかの2機と訓練空域に入り、対戦闘機を想定した訓練を始めて間もなく、緊急脱出して救難信号を出したとみられることが20日、空自への取材で分かった。

空自によると、搭乗員の30代の1等空尉は脚や腰の痛みを訴えたが命に別条はなく、20代の2尉も軽傷。事前に異常を知らせる無線などのやりとりは確認できていない。事故調査委員会が2人から当時の状況を聞くなどし、調査結果を4カ月以内に防衛相に報告する。



山口県沖の日本海に浮かぶ、訓練中に墜落した航空自衛隊築城基地所属のF2戦闘機の機体の一部。奥は海上保安庁の巡視船＝20日午後3時5分（共同通信社ヘリから）

空自戦闘機が山口沖で墜落 搭乗の2人救助、意識あり

朝日新聞デジタル古城博隆 2019年2月20日 17時15分



F2戦闘機＝航空自衛隊三沢基地



航空自衛隊築城基地（福岡県）所属のF2B戦闘機が20日午前9時20分ごろ、同基地から北東約130キロ付近の山口県沖に墜落した。現場海域で空自機が乗っていた2人を救助。命に別条はないという。

空自によると、墜落したのは同基地を離陸して30分後。計3機で対戦闘機訓練を始めてまもなくとみられる。飛行前の点検や直前の交信で異常は確認されておらず、突発的なトラブルが起きた可能性があるという。2人は座席を機体から切り離して脱出。前席の男性2等空尉（20代）が左腕などに軽傷を負い、後席の男性1等空尉（30代）は足や腰に痛みを訴えているが、意識ははっきりしているという。

空自戦闘機の墜落事故は2011年にF15戦闘機が沖縄県沖で墜落して以来で、運用中のF2戦闘機の墜落は初めて。機体は見つかっていないが、洋上を浮遊するタンクのようなものや油膜は確認できているという。航空幕僚監部の事故調査委員会が原因を調べる。当面、F2戦闘機の訓練を停止する。

F2戦闘機は米国のF16戦闘機をベースに日米共同で開発され、2000年に配備が始まり、事故機は07年に納入された。1人乗りのF2A、2人乗りのF2Bがある。主に築城、三沢（青森県）、松島（宮城県）の3基地に配備されている。

昨年11月に築城基地所属のF2A同士が長崎県沖の訓練空域で接触する事故を、2007年10月には定期点検後のF2Bが愛知県宮名古屋空港で、飛行試験をしようとして離陸に失敗し炎上する事故を起こした。（古城博隆）

空自のF2戦闘機が墜落 搭乗の2人を救助 山口県沖

毎日新聞 2019年2月20日 11時18分（最終更新 2月20日 18時15分）



航空自衛隊のF2戦闘機＝青森県三沢市の航空自衛隊三沢基地で2015年4月撮影



空自機が墜落したと見られる地点

20日午前9時20分ごろ、航空自衛隊築城（ついき）基地（福岡県築上町など）所属のF2戦闘機が山口県沖の日本海に墜落した。乗員2人は緊急脱出し、海上で救助された。2人とも意識ははっきりしているという。周辺への被害は確認されていない。事故を受け、空自は全戦闘機の訓練飛行を中止して機体の点検を行うと共に、事故調査委員会が原因を調べる。

空自によると、F2は午前8時50分ごろ、戦闘機同士の戦闘訓練のため、築城基地を3機編隊で離陸。同基地の北東約130キロ地点を飛行中にレーダーから消え、救難信号が確認された。空自が現場付近の海域を捜索したところ、油膜や救命ボートを発見。ボート上では2人が手を振ったり発煙筒をたいたりしており、同10時45分ごろまでに空自の救難ヘリに救助された。

F2を巡っては、昨年11月には築城基地所属の2機が訓練後の相互目視点検中に空中接触する事故を起こした。2007年には県営名古屋空港（愛知県豊山町）で三菱重工業が整備中のF2が離陸直後に墜落、炎上する事故も起こしているが、空自で訓練中のF2が墜落するのは初めて。

F2は米軍のF16を基に日米で共同開発され、00年から配備された。1人乗り用と2人乗り用があり、全長約16メートル、幅約11メートル、最大速度はマッハ2で、対地、対艦攻撃も可能な多用途戦闘機。空自は昨年3月時点で92機を保有している。築城基地は長さ2400メートルの滑走路を備え、所属隊員は約1500人。【前谷宏】

空自戦闘機墜落 直前に異常知らせる交信なし

毎日新聞2019年2月20日 18時26分(最終更新 2月20日 18時52分)



山口県沖で墜落したF2戦闘機の同型機—航空自衛隊提供

20日午前9時20分ごろ、航空自衛隊築城（ついき）基地（福岡県築上町など）所属のF2戦闘機が別の2機と訓練中に山口県萩市・見島（みしま）沖の日本海に墜落した。乗員2人は緊急脱出し、命に別条はない。空自によると、直前に異常を知らせるような交信は確認されておらず、訓練中に突発的なトラブルが起こった可能性がある。空自の事故調査委員会が原因を調べている。

空自戦闘機の墜落事故は2011年にF15が沖縄沖で墜落して以来で、F2の訓練飛行中の墜落は初めて。事故を受け、空自は

全戦闘機の安全点検を行うと共に、F2の訓練飛行を当面中止する。

空自によると、墜落したF2は主に教育訓練用に使われる2人乗りの機体で、30代の1尉と20代の2尉が搭乗。午前8時50分ごろに他の2機と築城基地を離陸したが、同9時20分ごろに同基地の北東約130キロ地点で救難信号が出され、直後にレーダーから消えた。

乗員2人は現場近くの海上で救難ヘリに救助された。2尉は軽傷で、1尉も腰などに痛みを訴えている。墜落現場は訓練用の空域で、当時は訓練開始直後だったとみられる。事故機は飛行前の点検では異常は確認されなかった。実弾は積んでおらず、周辺への被害は確認されていない。

空自トップの丸茂吉成航空幕僚長は「心配をかけ、大変申し訳ない。一刻も早く原因を究明し、再発防止に努める」とコメントした。

F2は米国のF16を基に日米共同開発した機体で1機約120億円。2000年から配備が始まり、07年には三菱重工業で整備中の機体が試験飛行のため県営名古屋空港（愛知県豊山町）を離陸直後に配線ミスで墜落した。昨年11月には築城基地の2機が連携ミスにより空中接触する事故もあった。【前谷宏】

空自F2戦闘機墜落 事前に異常確認されず

NHK2月20日 17時09分



20日午前、航空自衛隊のF2戦闘機1機が山口県沖を飛行中に墜落し、乗っていた隊員2人は現場付近で救助されました。事前に異常を知らせる無線のやり取りは確認されていないということで、航空自衛隊は、突発的な事故だった可能性があるとして原因を詳しく調べています。

20日午前9時20分ごろ、航空自衛隊のF2戦闘機1機が山口県沖の日本海の上空を飛行中にレーダーから機影が消えて連絡が取れなくなり、その後、墜落と断定されました。

事故機は福岡県にある航空自衛隊築城基地の所属で、30代の1等空尉と20代の2等空尉の2人が搭乗していて、午前11時ごろまでにいずれも現場付近で救助され、命に別条はないということです。

航空自衛隊によりますと、当時は事故機のパイロットの操縦技術を上げるため、ほかのF2戦闘機2機とともに合わせて3機で飛行し、防御と攻撃の二手に分かれて訓練を行っていたということです。

これまでのところ、事前に異常を知らせる無線のやり取りは確認されていないということで、航空自衛隊は、突発的な事故だった可能性があるとして、事故調査委員会が原因を詳しく調べています。

また、今回の事故を受けて、航空自衛隊は、全国に配備されているすべての戦闘機の訓練をいったん中止し、緊急点検を行っているということです。

航空自衛隊の築城基地では、去年 11 月にも F 2 戦闘機 2 機が訓練中に上空で接触し、機体の一部が損傷する事故が起きています。航空自衛隊トップの丸茂吉成航空幕僚長は「国民の皆様にご心配をおかけし、大変申し訳なく思っております。一刻も早く原因を究明し、再発防止に努めてまいります」というコメントを出しました。

整備オスプレイが試験飛行へ 開始から丸 2 年、木更津駐屯地
2019/2/20 17:41 共同通信社



2018 年 6 月、陸上自衛隊木更津駐屯地に到着した米軍普天間飛行場所属のオスプレイ＝千葉県木更津市

千葉県木更津市は 20 日、陸上自衛隊木更津駐屯地（同市）で定期整備中の米軍輸送機オスプレイが同日以降、地上滑走やホバリングをすると発表した。その後、試験飛行する予定だが、いずれも時期は不明という。防衛省北関東防衛局（さいたま市）から木更津市に連絡があった。

木更津市などによると、木更津駐屯地は米軍オスプレイの定期整備拠点。受注した SUBARU（スバル）が 2017 年 2 月から約 7 カ月の見込みで整備を始め、同年中に試験飛行をする予定だったが、丸 2 年かかっても終わらなかった。

遅れの原因は、整備要員の技術の習熟や部品調達が滞ったためとしている。

米、空軍省傘下に宇宙軍を創設

毎日新聞 2019 年 2 月 20 日 17 時 55 分(最終更新 2 月 20 日 17 時 56 分)

【ワシントン古本陽荘】トランプ米大統領は 19 日、米軍の宇宙関連の機能を統合する宇宙軍の創設に関する大統領令に署名した。陸海空軍などと同列の独立した軍創設を目指してきたが、空軍省傘下の組織となる方向だ。

トランプ氏は同日、記者団に「我々の敵は軍を訓練し技術を発展させ、米国の宇宙における安全を脅かそうとしている。それが国家安全保障上の優先課題として宇宙軍を創設する理由だ」と語った。

大統領令は、国防総省に宇宙軍の組織や権限に関する法案を検討するよう求めた。

議会からは、独立した宇宙軍を創設すれば巨額の費用が必要になると懸念の声が上がっていた。独立した軍創設を見送ることで、議会の理解を得たい考えだ。宇宙軍創設に批判的だったターナー下院議員（共和党）は「宇宙領域での優位性を確保するための最初の一步だ」と評価する声明を出した。

トランプ大統領「宇宙軍」創設指示「宇宙は戦闘領域」
NHK2019 年 2 月 20 日 12 時 51 分



アメリカのトランプ大統領は、宇宙空間で中国やロシアに対抗するための「宇宙軍」の創設に向け、必要となる法案の作成に着手するよう国防総省に指示しました。トランプ大統領は来年までに宇宙軍の創設を目指していますが、慎重な意見も根強く、思惑どおりに進むかは不透明な情勢です。

アメリカのトランプ大統領は 19 日、ホワイトハウスで、宇宙軍の創設に向け必要となる法案を作成するよう国防総省に指示する文書に署名しました。

署名に際し、トランプ大統領は中国やロシアが宇宙空間の軍事利用を加速させていることを念頭に、「わが政権は宇宙を戦闘領域と認識しており、宇宙軍の創設は国家安全保障の優先事項だ」と述べ、新たな軍を創設する必要性を改めて強調しました。

大統領が署名した文書では、宇宙軍は空軍を所管している空軍省の中に創設され、陸軍や海軍、海兵隊などと同格の 6 つめの軍になるとしています。

国防総省は数週間以内に必要な法案を議会に提出するとしており、承認されれば、1947 年に空軍が創設されて以来、初めての軍になります。

ただ、宇宙軍の創設には多額の費用がかかることなどから、アメリカ国内には慎重な意見も根強く、野党・民主党が議会下院で多数派を握る中、トランプ大統領の思惑どおりに進むかは不透明な情勢です。

辺野古署名活動の日系 4 世が会見 「政府は沖縄を尊重してない」

2019/2/20 19:45 共同通信社



記者会見するロバート梶原さん＝20 日午後、衆院第 1 議員会館
米軍普天間飛行場の移設問題を巡り、名護市辺野古沿岸部の埋め立て作業を 24 日の県民投票まで停止するよう米大統領に求め

る署名運動を呼び掛けたハワイ在住の日系 4 世、ロバート梶原さんが 20 日、衆院議員会館で会見し「日本政府は沖縄の人を尊重していない」と批判した。

梶原さんは、菅義偉官房長官が移設の賛否を問う県民投票の結果にかかわらず移設を進めるとの見解を示したことについて「日本政府の対応は非民主的だ。はっきりと反対の声を上げた」と話した。

昨年 12 月 8 日、米ホワイトハウスのサイトを通じて署名活動を始め、2 月 19 日現在で 21 万筆を超える署名が集まったという。

カジワラさん「入国時、約 2 時間入管で足止め」 辺野古移設でサイト署名呼びかけ人

毎日新聞 2019 年 2 月 20 日 19 時 17 分(最終更新 2 月 20 日 19 時 39 分)



米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の県内移設反対を訴えるロブ・カジワラさん＝東京・永田町の衆院議員会館で 2019 年 2 月 20 日、井田純撮影

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への県内移設問題で、米ホワイトハウスの請願サイトを利用して埋め立て工事の一時停止を求める署名を呼びかけたハワイ在住の日系 4 世、ロブ・カジワラさん（32）が 20 日、衆院議員会館で記者会見し、19 日午後に関西国際空港から入国する際、大阪入国管理局関西空港支局で約 2 時間にわたり尋問を受けていたことを明らかにした。

カジワラさんは、超党派の国会議員と面談したり、支援者と交流したりするため、関空を経由して羽田に向かう予定で来日。カジワラさんや関係者によると、カジワラさんは入国審査時に別室に移され、入管係官から入国目的や参加するイベントなどについての質問を受けたという。取材に対しカジワラさんは「何度も来日しているがこんな扱いを受けたのは初めて。署名活動に対するいやがらせと、私の気持ちをくじく狙いがあると思った」と語った。

大阪入管関空支局は毎日新聞の取材に「報酬を得る目的の入国ではないかなどについて確認した。出入国回数が多い人物に対する一般的な対応だった。電話で『平和活動を妨害するのか』などの抗議を受けているが、特別な意図はない」と話している。カジワラさんは今回の尋問についてツイッターで拡散。同支局には問い合わせが多数寄せられているという。

署名運動はホワイトハウスの請願サイト「WE the PEOPLE」で昨年 12 月 8 日から開始。辺野古移設の賛否を問う 2 月 24 日の県民投票までの工事中止を求めた。署名が 1 カ月間で 10 万筆を超えれば、米政府は何らかの回答をする仕組みだが、開始 11 日で 10 万筆を突破。英ロックバンド「クイーン」のギタリスト、ブライアン・メイさんも署名するなど国際的な広

がりを見せ、署名は約 21 万筆に達している。【井田純】

辺野古移設 入国時に 2 時間尋問 関空、反対日系人に

毎日新聞 2019 年 2 月 21 日 東京朝刊

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への県内移設問題で、米ホワイトハウスの請願サイトを利用して埋め立て工事の一時停止を求める署名を呼びかけたハワイ在住の日系 4 世、ロブ・カジワラさん（32）が 20 日、衆院議員会館で記者会見し、19 日午後に関西国際空港から入国する際、大阪入国管理局関西空港支局で約 2 時間にわたり尋問を受けていたこと…残り 258 文字（全文 429 文字）

梶原さん入国一時足止め 米請願署名呼びかけ人 入管、辺野古やデモ尋問

琉球新報 2019 年 2 月 21 日 05:00



ロバート・梶原さん

米ホワイトハウスへの請願署名を呼び掛けたハワイ在住の日系 4 世のロバート梶原さんが 19 日夜に到着した関西空港で、約 1 1 0 分間にわたり入国審査の担当者から入国目的や政府による新基地建設工事が進められている名護市辺野古について繰り返し尋問され、足止めされた。新基地建設工事の停止を求めてきた梶原さんは別室での長時間の尋問に「政府による嫌がらせだ」と強調した。一方、大阪入国管理局関西空港支局は短期滞在で入国を繰り返す外国人の場合、別室で滞在目的を確認し無許可で働いて報酬を得ないか確認する必要があるとし「嫌がらせではない。入国審査として一般的だ」と説明している。

梶原さんは 19 日午後 6 時 50 分ごろから午後 8 時 40 分ごろまで別室で入国審査を受けた。梶原さんによると、入国審査の担当者は来日の目的や参加するイベントの内容などについて尋ね「辺野古へ行くのか」「デモをするのか」などの質問も含め、辺野古について大量の質問を繰り返したという。

別室での入国審査を受けた梶原さんは、活動を支援する人に状況を報告。連絡を受けた照屋寛徳衆院議員が 19 日夜、入国管理局に連絡して来日の目的など梶原さんについて説明し身元を保証した。その後、梶原さんは入国を許可され、深夜に東京へ飛行機で移動することができた。

大阪入国管理局関西空港支局は本紙取材に、辺野古の質問を繰り返した理由について「滞在中に働かないか確認するために活動内容、スケジュールをつぶさに聞いて本人の言うことに齟齬（そご）がないか確認する。本人の説明に信憑性（しんぴょうせい）

を確認できたので入国を許可した」と説明し、政治的な意図を否定した。110分間の足止めについて「通訳を介すので日本語で話すよりも3倍くらい長くなる。(他の事案と比べ)それほど長い時間ではない」とした。

一方、梶原さんは年に3、4回来日し長期間滞在しているとし、昨年11月に来日した際は長時間の審査はなかったと強調。「これまで経験したことがなく、非常に驚いている。11月との違いは私が(ホワイトハウス請願の)署名を呼び掛けたことだけだ。東京に行く便に乗せるのを遅らせるためではないか」と話し、政治的な意図を感じると主張した。

「なぜ辺野古行くのか」カジワラさん入国一時足止め 米署名の発起人

沖縄タイムス 2019年2月21日 05:33

沖縄県名護市辺野古の新基地建設の一時停止を米ホワイトハウスに求める署名運動の発起人ロブ・カジワラさんが19日、到着した関西国際空港で入国を一時足止めされていたことが分かった。



ロブ・カジワラさん

カジワラさんは都内や県内での講演会に出席するため、ハワイから午後6時20分に到着した。しかし入国審査で、午後6時50分ごろから同8時40分まで約110分間足止めされた。

関係者によるとカジワラさんは別室に通され、入国管理事務所の職員3、4人によって「なぜ辺野古に行くのか」「日本に何をしに来たのか」と繰り返し聞かれたという。

カジワラさんは「講演会のために来た」などと説明。すると職員たちは「講演会で何を話すのか」「デモをするのか」と問い返したという。カジワラさんは足止めの理由について尋ねたが、職員は答えなかった。

カジワラさんは「昨年11月の来日時は問題なかった。これまでこういうことはなく、とても驚いた」と話した。

名桜大学は施設利用を認めず

一方、名桜大学で22日に開催予定だったカジワラさんと学生との交流会で、大学側が施設利用の許可申請を認めなかったことが分かった。

交流会は、カジワラさんの友人などで行く「ロバート梶原来沖プロジェクト」が企画。メンバーによると19日に大学側から「県民投票が近いので中立の立場を保ちたい」と申請却下が伝えられたという。

大学関係者は取材に対し「政治的なイベントということで却下することはない。事実関係を確認してからでない」とコメントできない」と話している。

名桜大、会場使用を不許可に ホワイトハウスへの辺野古請願

署名を呼び掛けたロバート梶原さんとの交流会

琉球新報 2019年2月20日 11:43



【名護】市民有志らが名桜大学で22日に企画していた沖縄県系4世のアーティストで、米ホワイトハウスへの請願署名を呼び掛けたロバート梶原さん＝ハワイ在住＝と学生らとの交流会で大学側が会場使用を不許可にしていたことが19日までに分かった。本紙の取材に大学側は交流会を不許可としたことを認めた上で「大学の教育施設の利用は適切でないので却下した」としている。

梶原さんは、24日投開票の県民投票まで名護市辺野古の新基地建設工事を停止するよう求め、請願署名を呼び掛けた。交流会は市民有志でつくる「ロバート梶原来沖プロジェクト」が学生らとの交流の機会にしようと企画した。同プロジェクトは名護市内の別会場での交流会開催を検討している。

同プロジェクト代表の山田マドカさん(39)は「交流会であって、政治的なものではない。(不許可は)理解できない」と話した。山田さんは「不許可の理由を知りたい」として大学側に公開質問状の提出を検討している。

直木賞「宝島」の真藤順丈さんが考える辺野古県民投票

琉球新報 2019年2月20日 10:15



小説「宝島」へ込めた沖縄への思いを語る真藤順丈さん＝19日、那覇市牧志のジュンク堂書店那覇店

戦後から復帰前までの沖縄を舞台に「戦果アギヤー」をヒーローにした青春小説「宝島」で直木賞を受賞した作家の真藤順丈(じゅんじょう)さん(41)＝東京都＝が19日、那覇市牧志のジュンク堂書店那覇店で報道各社の取材に応じた。真藤さんは「今の日本の成り立ちをひもとく鍵がこの時代の沖縄にある」と述べた。県民投票については「投票では『はい』か『いいえ』かを表明してもらいたいと思っている。結果を受け、次はわれわれがどう動くかが大事になる」と言及した。

昨年10月にジュンク堂書店那覇店でトークイベントを開催した時の来場者は10人ほどだったが、18日夜に開催したトークとサイン会には、約150人が詰め掛けた。

東京や大阪でもサイン会を開いてきたが、沖縄のサイン会では小説に出てくる土地や人物と直接ゆかりのある人が感想を教えてください、米軍との当時のエピソードを聞かせてくれたりし「沖縄の読者は思いがこもっていると感じた。直接読者の声が聞けて、感無量です」と述べた。

受賞後は連日取材や講演、サイン会などが入り、この1カ月執筆ができない状態だという。沖縄の読者との会話から、新たな小説が書けそうだとし「これまで書くことがつらかったが今は早く書きたくなっている」と意欲を示した。

沖縄の戦後史の資料や来県して取材を重ね、7年かけて書き上げた「宝島」。基地がそばにある中で生きている人たちが、簡単に基地に「賛成」「反対」は言えないだろうと推し量る。一方で、県民投票では「はい」「いいえ」のいずれかの表明に期待を寄せる。「すぐに何かが変わらなくても、動かないような壁が動くときがある。『宝島』ではまさにそのような時代を描いた」と述べ投票結果に注目している。

しんぶん赤旗 2019年2月20日(水)

沖縄2. 24 県民投票 基地のための工事しない 元大手ゼネコン技師「譲れぬ心情」 名護市在住 阿波根数男さん(70)



(写真) 県民投票に向けて「これ以上、沖縄に米軍基地はいらない」と語る阿波根数男さん

定年退職して間もない2013年夏、元上司から思いがけない誘いを受けました。「辺野古の工事を手伝ってほしいか」。

日本有数のスーパーゼネコンの鹿島(かじま)建設(資本金814億円、従業員7700人)の九州支店沖縄営業所で長年、1級土木施工管理技士として工事現場で施工管理を任せられ、「陣頭指揮」を執ってきた阿波根(あはごん)数男さん(70)=名護市田井等(たいら)=。「残された人生をゆっくり過ごしたい」と、誘いを断りました。

日米両政府が沖縄県民の反対の民意を踏みにじりながら強行する、名護市辺野古米軍新基地建設の工事の手伝いを断った本当の理由は、別にありました。

「米軍占領下で米軍の横暴を肌で感じ、まさに植民地だった。これ以上、沖縄に米軍基地はいらないという強い思いがある。基地のための工事はやれない。現役時代は会社に迷惑がかかると思い、表には出さなかった」

阿波根さんにはもう一つの“業務”がありました。公明党・創価学会の支援活動です。九州・沖縄の創価学会施設の建設を担当していました。

◇

24日投票の同新基地建設の埋め立ての賛否を問う県民投票で、より明確で圧倒的な反対の民意を示すため、多くの県民が奮闘する中、「県民に役立つ工事には力を尽くすが、戦争のため

の米軍基地はだめだ」と訴える元大手ゼネコン土木技師の、「譲れない心情」に迫ります。

圧倒的反対で断念させる 公明党・創価学会の新基地容認に反発



(写真) 辺野古海上大行動

で「海を壊すな」と訴える人たち=2月16日、沖縄県名護市辺野古

鹿島建設に勤めていた1級土木施工管理技士の阿波根数男さん(70)は、創価学会が米軍核ミサイル基地跡地(沖縄県恩納村)に建設した「創価学会沖縄研修道場」併設の「沖縄世界文化会館」など、国内外の重要人物が利用する施設の施工を取り仕切ることもたびたびでした。「創価学会からの指名だった」そうです。

創価学会と交流

東京の信濃町にある創価学会本部での契約にも立ち会い、創価学会幹部との交流を積み重ね、「(創価学会名誉会長の)池田大作氏などの著作も独学で学び、信頼関係を深めてきた」と言います。

公明党の国会議員を増やすための建設業者などを束ねた後援組織、「アキサン会」の中心メンバーとなり、首長、地方議員選挙でも活発に動いてきました。

沖縄で最初に「自公連立」が実現する中でも公明党県本部、県の創価学会は、新基地建設が争点となる県知事選や名護市長選では「自主投票」でした。

ところが2018年の名護市長選、県知事選では、公明党・創価学会は新基地建設を事実上容認し、官邸が丸抱えで支援する市長候補や知事候補を「推薦」しました。

阿波根さんは「あり得ないことだ」と強く反発。「沖縄戦の悲劇から真っ先に幸せになるべき沖縄を説く公明党、創価学会の立場から逸脱している」との文書を、公明党や創価学会の幹部らに届けました。

阿波根さんの中に流れる「沖縄のアイデンティティ」がそうさせました。沖縄戦を生んだ太平洋戦争で叔父がフィリピンで戦死。生まれ育った同県本部町では、米軍が民家や農地をブルドーザーで踏みつぶして飛行場を建設しました。

不安抱えた日々

当時は基地と町の境界はなく、民家の横でいきなりパラシュート降下訓練や野戦訓練が始まり、道端には、基地への侵入を防ぐ地面に張られた架線を踏むと一斉に発火する危険な装置が設置されているなど、生活と隣り合わせの事故への恐怖と不安の日々でした。

土木技師として、海洋博公園・美ら海(ちゅらうみ)水族館(本部町)の巨大水槽を支える基礎工事、那覇空港の航空交通管制管理棟整備などを手掛け、「地図に載っている工事」は、子どもへ

の自慢だった」と語る阿波根さん。

県民投票成功後に、かなえない夢があります。「県民投票の『埋め立て反対に○』という圧倒的な結果で、政府に新基地を断念させる。そして基地のない平和な沖縄で、県民悲願の鉄軌道を何とかしても実現させたい」一。(山本眞直)

しんぶん赤旗 2019年2月20日(水)

「普天間」停止速やかに 政府に「オール沖縄」など要請



(写真) 各府省に決議を渡す、(右から)「島ぐるみ会議ぎのわん」の宮城一郎県議、「オール沖縄会議」の山本隆司事務局長、伊波洋一参院議員＝19日、衆院第2議員会館

「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」の山本隆司事務局長と「島ぐるみ会議ぎのわん」の宮城一郎共同代表は19日、米軍普天間基地(沖縄県宜野湾市)の「5年以内の運用停止」期限(18日)を受け、同基地の速やかな運用停止を求める総決起大会の決議(17日付)を内閣官房、外務・防衛両省に手渡し、抗議要請しました。

沖縄県選出の野党国会議員でつくる「うりずんの会」も参加。日本共産党の赤嶺政賢衆院議員が同席しました。

決議は、普天間で相次ぐ騒音被害、部品落下や米軍機の違法な運用などを批判し「普天間の危険性除去は辺野古移設とはリンクしない最優先の課題として位置づけられ、5年以内運用停止が約束された」「市民県民にとって決して譲れない一線」と表明しています。

両省は5年以内停止の約束を履行できなかった理由に、辺野古「移設」に関する「県の埋め立て承認撤回」や「地元の協力を得られることが前提」とする見解を説明。一方、米国政府に運用停止を要請したか「明らかにできない」と繰り返しました。

宮城氏は「自分たちの努力の足跡を開示せず『沖縄の協力が得られないから』と言うのは卑劣だ」と痛烈に批判。赤嶺氏は、仲井真弘多元知事が辺野古と切り離して5年以内運用停止を求めていることに触れ「それほど急を要する問題だ。なぜ辺野古の完成を待つのか」と述べ、普天間基地の全機の運用停止を求めました。

期日前10万人突破 県民投票 市部は出足鈍る

琉球新報 2019年2月20日 17:46 沖縄県名護市辺野古の新基地建設に伴う埋め立ての賛否を問う県民投票で、期日前投票開始5日目の19日、投票を済ませた人は全県で10万人を超えたことが本紙の取材で分かった。回答を得られなかった多良間村と、午後11時までにホームページへの掲載が確認できなかった金武町を除いた39市町村の合計は10万1165人だった。全投票資格者の約8・7%に当たる。

ただ、11市の合計は前日の18日より2703人減少した。雨天が影響したとみられる。18日と比べると11市のうち8市で減り、3市で増えた。那覇市では1653人減り7541人だった。うるま市は316人減り1863人、沖縄市は160人減り1659人、浦添市も220人減り1245人だった。名護市と南城市、石垣市は18日より若干増えた。

期日前投票の投票者数		
	19日	累計
那覇市	7,541	22,042
宜野湾市	1,171	5,788
石垣市	616	2,878
浦添市	1,245	6,860
名護市	1,226	5,699
糸満市	1,035	4,882
沖縄市	1,659	7,313
豊見城市	912	4,730
うるま市	1,863	7,263
宮古島市	558	2,866
南城市	791	3,739
国頭村	104	402
大宜味村	91	384
東村	36	148
今帰仁村	168	789
本部町	254	1,244
恩納村	113	498
宜野座村	151	549
金武町	※	592
伊江村	98	487
読谷村	746	3,259
嘉手納町	261	1,093
北谷町	467	2,096
北中城村	279	1,286
中城村	322	1,533
西原町	724	3,454
与那原町	520	1,660
南風原町	589	3,223
渡嘉敷村	14	85
座間味村	11	83
粟国村	16	61
渡名喜村	4	49
南大東村	15	115
北大東村	8	51
伊平屋村	32	123
伊是名村	26	112
久米島町	175	615
八重瀬町	599	2,839
多良間村	※	50
竹富町	28	132
与那国町	12	93
合計	—	101,165

※は回答を得られず不明。累計は18日現在

昨年の知事選では、開始10日目で期日前投票者数は9万5千人余りで10万人には届いておらず、知事選より速いペースで10万人に達した。一方、知事選では期日前投票期間は16日間あり、台風の影響もあり終盤にかけて急増した。最終的には有権者の3割余りに上る40万6984人が期日前に投票した。

沖縄県、係争委の却下受け提訴も検討 玉城デニー知事「対話を閉ざすことではない」

沖縄タイムス 2019年2月20日 12:06

県議会2月定例会の代表質問が、20日から始まった。名護市辺野古の新基地建設を巡る国交相による埋め立て承認撤回の執行停止処分に関し、「国地方係争処理委員会(係争委)」が18日に県の審査申し出を却下したことを受け、池田竹州知事公室長は、通知文が届き次第対応を検討すると述べ「対話の実現しない状況のなかでは、提訴というケースについても検討していく」と提訴も検討する方針を明かした。



県議会代表質問で答弁する玉城デニー知事＝20日午前10時34分

玉城デニー知事は「対話を閉ざすことではない。あらゆる機会をもって、対話の姿勢で臨んでいくことに、これからも変わらない」と従来の対話姿勢を継続する方針を示した。いずれも末松文信氏（沖縄・自民）への答弁。

20日は、座波一氏（沖縄・自民）、新垣新氏（同）も質問に立つ。

県民投票の整理券に「選挙」 沖縄市「気付かなかった」 記載ミス

沖縄タイムス 2019年2月20日 07:45

【沖縄】沖縄市は19日までに、有権者に送った県民投票の「投票所入場整理券のはがき」に「選挙」と誤って記載していたと発表した。市選挙管理委員会事務局は「校正作業で見逃しがあった」と釈明した上で、「投票の効力決定に影響するものではない」と説明している。はがきは再発送せず、そのままのはがきで対応する。



沖縄市選挙管理委員会事務局が誤って印刷したのはがき。左横に「選挙」と記されている（市のホームページより）

選管によると、はがきは8日に発送した後市民からの問い合わせで誤りがあったことが発覚した。沖縄市は当初、桑江朝千夫市長が県民投票への不参加を表明。告示日約2週間前の1日に一転して参加を決めた。

事務局の担当者は「選挙の際に使っていた型版で印刷してしまった。作業がぎりぎりだったので、校正の段階で気付かなかった。『選挙』の文字は省くべきだった」と話している。市は県の県民投票推進課に状況を報告した上で、17日付で市のホームページに訂正とおわびを掲載した。

石垣陸上自衛隊配備の賛否を問う市民投票、市議会野党が条例案提出へ

琉球新報 2019年2月20日 11:21

【石垣】沖縄県石垣市平得大俣への陸上自衛隊配備計画を巡り、市議会直接請求が否決された同計画への賛否を問う住民投票条例について市議会野党側は19日、3月定例会に条例案を議員

提案する方針を固めた。定例会開会日の25日に提出する予定だ。

住民投票を巡っては有権者の約4割に当たる1万4263筆が署名して直接請求されたが、1日の臨時議会で、可否同数の議長裁決により否決された。



陸自部隊配備を巡る現行計画の賛否を問う住民投票条例案を採決する石垣市議会＝1日午後

一方で否決後も、条例制定請求者の市住民投票を求める会が与野党議員と面談して実施を模索する動きを見せるなど、投票実現を求める市民の声は根強い。

野党側は19日に会議を開き、定例会に条例案を提出する方針を確認した。今後、提案者などを調整する。

1日の臨時会では野党が全員賛成する一方で、過半数を占める与党議員の大部分が条例案に反対した。ただ野党が早急に結論を求めた結果、実質的な議論がないまま採決に至った経緯もあり、審議不足も反対理由となった。住民投票自体には理解を示す与党市議もいることから、今後の議論が注目される。野党市議の一人は「1万4千筆の重みを受け止め、残された可能性に懸けたい」と話した。

防衛相 辺野古埋め立て 見込み額上回る可能性 軟弱地盤改良 NHK2019年2月20日 14時08分



アメリカ軍普天間基地の名護市辺野古への移設をめぐる、岩屋防衛大臣は衆議院予算委員会で、埋め立てに着手していない区域にある軟弱な地盤を改良するため、埋め立てにかかる費用が当初の見込み額のおよそ2400億円を上回る可能性があるという認識を示しました。

続きを読む

沖縄のアメリカ軍普天間基地の名護市辺野古への移設をめぐる、防衛省は去年12月から土砂の投入を始めていますが、まだ埋め立てに着手していない区域を調査した結果、軟弱な地盤があることがわかっています。

これに関連して、岩屋防衛大臣は「軟弱地盤については、これまで実績のある工法で施工可能だと確認されているが地盤改良のためのコストは増える可能性がある」と述べ、埋め立てにかかる費用が当初の見込み額のおよそ2400億円を上回る可能性があるという認識を示しました。

一方、移設にかかる費用を、沖縄県が最大で2兆5500億円と試算していることについて、「反論するつもりはないが、埋め立ての見込額のおよそ2400億円を機械的に10倍して出した試算な

のかなと受け止めている。そこまではかからないと考えている」と述べました。

辺野古に代替施設ができて、普天間飛行場が返還されない可能性があるって本当？

琉球新報 2019年2月20日 11:14



米軍普天間飛行場の早期返還について日本政府は「唯一の解決策」と繰り返している。しかし米国との8項目の返還条件や軟弱地盤の存在などで早期返還の実現性は揺らいでいる。

Q 返還条件とは、

A 日米両政府が普天間飛行場を名護市辺野古に移設することを決めた2013年の「統合計画」に明記され、17年に稲田朋美防衛相(当時)が参院外交防衛委員会で「仮定の話」とした上で「米側との前提条件が整わなければ返還されないことになる」と発言し波紋を呼んだ。その内容は「普天間飛行場代替施設では確保されない長い滑走路を用いた活動のための緊急時における民間施設の使用の改善」など8項目あり、それが実現しなければ返還されないという。

Q 代替施設では確保されない滑走路ってどういうこと？

A 代替施設として名護市辺野古でV字形滑走路の建設が計画されているが、その長さは1800メートルで、固定翼機には短いと言われている。そのため米軍は長い滑走路を持つ民間空港を使えるようにしてほしいと要求している。どこの民間空港かは明らかにされていないが、過去の米国の文書には那覇空港の名前が書かれていた。

17年の米政府監査院(GAO)報告書は代替施設の滑走路は必要な長さを満たしていないと指摘し、代わりの候補地は12カ所あり、うち1カ所は県内にあるとしている。普天間飛行場の滑走路が2800メートルあるのに対し那覇空港は3000メートルで、同等の長さの民間空港は那覇空港しかないのが現状だ。

Q 8項目の条件はどれだけ実現しているの？

A 14年8月に完了した「KC-130飛行隊による岩国飛行場の本拠地化」などの2項目だけだ。

Q 辺野古新基地建設では予定地の大浦湾に軟弱地盤が存在し、国は今年になって地盤改良の必要性に言及したけど費用や工期はどうか。

A 日本政府は13年に普天間飛行場の返還期日は「22年度以降」と発表した。防衛省の当初計画では埋め立てに要する工期は5年、その後3年の施設整備を経て、辺野古の基地が完成する見通しだった。しかし安倍晋三首相は今年1月、国会答弁で地盤改良工事の必要性を認めた。軟弱地盤は最深部で水深90メートルに達し、専門家から実現を困難視する意見が出ている。

安倍首相は安定性を確保して地盤改良できると見解を示したが、工期や工費については「確たることを申し上げることは困難だ」と述べるにとどめた。

県は昨年、工期や工費を独自に試算した。埋め立てにかかる工費が2兆5500億円に膨らむと見通し、工期についても埋め立て工事に5年、軟弱地盤の改良工事に5年、埋め立て後の施設整備に3年かかるとして13年以上は必要と指摘した。

これは国が改良工事が必要な軟弱地盤の概要を示す前の試算だ。新基地建設は当初計画より工期や費用を要することは必至な上、実現するかどうか不明になっている。

Q 解決策は辺野古移設しかないの？

A 民主党の鳩山政権が徳之島移設を検討したが、断念し県内に回帰した。その理由が外務省の極秘文書に記されたヘリコプター部隊と演習場の距離を65カイリ(約120キロ)以内とする米軍の「基準」だった。しかし在沖米海兵隊は「公式な基準や規則はない」と否定した。後に鳩山由紀夫元首相は「外務省は今、正式な文書でないとし、誰も口をつぐんで答えられない」と、官僚による情報操作だと批判している。

建設進む辺野古は普天間飛行場の「代替施設」？ それとも「新基地」？

沖縄タイムス 2019年2月21日 05:00

そもそも辺野古～県民投票を前に(8)

名護市辺野古で建設が進むV字形滑走路の飛行場は、普天間飛行場の「代替施設」なのか、それとも「新基地」なのか。



辺野古に建設中の施設

政府は、埋め立て必要理由書の中で「普天間飛行場代替施設」と明記。米海兵隊基地として使用しているキャンプ・シュワブの陸上部分と辺野古の沿岸部160ヘクタールを埋め立てた土地に建設するため、普天間の480ヘクタールが返還されれば、面積では実質320ヘクタールの縮小になると主張している。

さらに滑走路は2700メートルから1800メートルに短縮。普天間で担ってきた三つの機能のうち空中給油機はすでに山口県の岩国基地へ移転、緊急時の外来機受け入れは本土移転が決

まっており、辺野古の飛行場ではオスプレイやヘリの部隊運用だけにとどまる。住宅防音工事助成事業の対象は普天間周辺の1万世帯から、辺野古周辺ではゼロ世帯になり、騒音被害は軽減される。

そのため「新基地ではない」と強調してきた。

一方で、辺野古の基地には普天間にはない新たな機能が加わる。

大浦湾側に整備予定の係船機能付き護岸について、政府は「故障機などの搬出に使用」と説明するが、全長271・8メートルでオスプレイ搭載の強襲揚陸艦が接岸できることから「軍港ではないか」と指摘されている。タンカー用の燃料栈橋も建設予定で、海と面していない普天間に比べ、特徴的な新機能となる。

普天間にはミサイルや銃弾を積み込む場所がなく、普天間所属機は空軍嘉手納基地への移動が必要だったが、辺野古では弾薬搭載エリアが整備される。

辺野古移設に反対した稲嶺進前名護市長や翁長雄志前知事らは「新基地」と呼んできた。

県内の米軍基地には計88カ所のヘリコプター着陸帯(ヘリパッド)があり、普天間所属機が訓練を繰り返している。普天間周辺の騒音や危険性がなくなってもヘリパッド周辺ではこれまで以上に訓練が展開される可能性もある。

県民投票条例では「普天間飛行場の代替施設として国が名護市辺野古に計画している米軍基地建設のための埋め立て」と表現している。(政経部・福元大輔)

同じ岩ずりなのに？辺野古沿岸部埋め立て用の単価は護岸用の3倍 総額45億円高く 防衛相「需要増で変動」と説明 見積もりは1社だけ

琉球新報 2019年2月20日 11:03



米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設で、沖縄防衛局が辺野古沿岸部に投入している岩ずりを護岸用土砂の約3倍の価格で発注していたことが分かった。辺野古側への土砂投入のために発注された岩ずりは129万立方メートルで、護岸用の岩ずり単価と比べ、総額約45億円高く購入したことになる。沖縄平和市民連絡会メンバーで土木技師の北上田毅氏が情報公開請求で入手した資料で判明した。

防衛局は2014年度に契約した護岸工事で、岩ずりの単価を1立方メートル当たり1870円に設定していた。一方、現在施工中の辺野古沿岸部の土砂投入では、運搬費などを除く岩ずりだけで1立方メートル5370円と設定している。積み込みや運搬の費用を含めると、1立方メートル当たり1万1290円に上る。

岩屋毅防衛相は19日の会見で「岩ずりの単価は流通している商品だから調達時期や需給状況で変動する。那覇空港の滑走路増

設という大型事業があり、需要増加などで価格が変動したと認識している」と述べた。

埋め立て用岩ずりを巡っては1社だけの見積もりで、沖縄総合事務局が使っている資材価格と比べて割高な単価となっている。防衛省の内規は材料単価の算定は原則3社以上から見積もりを取ると定めている。

行き交う車がバウンド 辺野古の道路、一部が陥没

沖縄タイムス 2019年2月21日 05:00

名護市辺野古の国道329号で、道路の一部の陥没が19日までに確認された。北部国道事務所が原因を調査中で、対応を検討するとしている。道路の下では、米軍キャンプ・シュワブ内のトンネル拡張工事が実施されているとの情報もあり、工事が原因の陥没を指摘する声もある。



名護市辺野古の国道329号で確認された道路の陥没。写真中央部分が沈んでひび割れている＝〇日、同市

現場は辺野古変電所とシュワブメインゲートの間。十数センチほどのへこみが上下線にあり、行き交う車がバウンドするほど。一部は路面がひび割れ、補修剤で埋めたような跡も見られた。

同事務所によると、陥没を確認したのは18日。担当者は「パトロールで、以前からあったへこみが大きくなっていることに気付いた。舗装などの対応を検討する」と答えた。

ゲート前の抗議活動に参加している那覇市の男性(69)は「道路の真下でトンネルの工事をやっている」と聞いた。その影響ではないか」と首をかしげた。

辺野古埋め立て土砂搬入、安和栈橋で抗議 女性が転倒し救急搬送

沖縄タイムス 2019年2月20日 13:19

沖縄県名護市辺野古の新基地建設に反対する市民らは20日、埋め立て用土砂の搬出場所である名護市安和の琉球セメントの栈橋で抗議活動をした。午前10時半ごろには県内外から約150人が集まり「違法工事をやめろ。美ら海を守ろう」と声を上げた。午前7時半からダンプカーによる土砂搬入が始まり、正午までに180台が搬入された。



機動隊員に押されて頭を打ち、救急搬送される女性を見守る市民

や機動隊員ら＝20日午前11時、名護市安和



機動隊員による暴力へ「許さんぞ」と抗議の声を上げる市民ら＝20日午前11時半すぎ、名護市安和

午前10時50分ごろには、70代の那覇市在住の女性が機動隊員に押されたとして、転倒。頭を打って救急搬送された。近くにいた人たちは「頭を打ったとき、『ゴンっ』という嫌な音が聞こえた」という。

沖縄平和運動センターの大城悟事務局長は「工事を優先するあまり事故が起きた。私たちは危険なことをしていない。今後もしっかりと抗議していこう」と話した。

「辺野古移設なき早期返還は不可能」石垣市議ら、県民投票で訴え

沖縄タイムス 2019年2月21日 06:26

沖縄県名護市辺野古の新基地建設に伴う埋め立ての賛否を問う県民投票を巡り、石垣市議会の与党会派「自由民主石垣」の砥板芳行会派長＝写真手前＝らは19日、石垣市内で街頭演説した。



県民投票の在り方や県を批判し、「普天間飛行場の辺野古移設なくして早期全面返還は不可能。歴史的経緯を踏まえて判断を」と訴えた。

砥板市議は県の公式ホームページについて「辺野古が埋め立てられる状況ばかり掲載され、辺野古移設への歴史的経緯や内容は一切触れられていない。県は正しい情報を届けず一方的に反対をあおっている」などと批判。「問題点を踏まえ、それぞれ意思表示するか決めてほしい」と述べた。

県民投票、辺野古移設に影響せず＝徴用工、韓国へ対抗策も一衆院予算委

時事通信 2019年02月20日 17時40分



衆院予算委員会で答弁する安倍晋三首相（手前）。奥は石田真敏総務相。中央は根本匠厚生労働相＝20日午後、国会内

安倍晋三首相は20日の衆院予算委員会で、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設の是非を問う24日の県民投票の結果にかかわらず、移設工事を進める意向を示した。こうした考えに言及した先の菅義偉官房長官の発言を「政府としての方針を述べた」と認めた。立憲民主党会派の江田憲司氏への答弁。

菅氏は14日の記者会見で、県民投票がどのような結果になろうと辺野古移設の方針に変わりはないかと問われ、「基本的にはそういう考え方だ」と述べていた。



衆院予算委員会で答弁する河野太郎外相＝20日午後、国会内

江田氏はこれを取り上げ、「投票結果にかかわらず移設を進めるのか」とたどした。首相は「自治体の独自の条例に関わる事柄で、見解を述べることは差し控える」としながらも、菅氏の発言について「政府としての方針を述べた」と語った。

日本企業に元徴用工らへの賠償を命じた韓国最高裁判決に関し、河野太郎外相は「韓国が誠意をもって協議に応じると思っているが、万が一の場合には対抗策を取らなければいけない」と述べた。原告側が差し押さえた日本企業の資産を売却すれば、1965年の日韓請求権協定に基づき仲裁委員会の設置を韓国政府に要請することを示唆した発言だ。

辺野古移設費、沖縄県の試算は過大＝岩屋毅防衛相

時事通信 2019年02月20日 11時49分



衆院予算委員会で挙手する岩屋毅防衛相＝20日午前、国会内

岩屋毅防衛相は20日の衆院予算委員会で、沖縄県が米軍普天間飛行場（同県宜野湾市）の名護市辺野古への移設費用を最大2兆5500億円と試算していることについて「当初の見込み額約2400億円を機械的に10倍して出した試算と受け止めている。そこまでは掛からないと考えている」と述べ、試算は過大だとの認識を示した。

ただ、岩屋氏は埋め立て海域で軟弱地盤の存在が明らかになったことに触れ、「地盤改良のためのコストが掛かる可能性がある」と指摘した。

首相、NHKでのサンゴ発言「間違ったこと言っていない」

朝日新聞デジタル 2019年2月20日 12時52分



衆院予算委で、立憲民主党の本多平直氏の

質問に答弁する安倍晋三首相＝2019年2月20日午前、岩下毅撮影



安倍晋三首相は20日の衆院予算委員会で、米軍普天間飛行場の移設計画に伴うサンゴの移植に関して1月のNHK「日曜討論」で「あそこのサンゴは移している」と発言したことについて「私の説明が常に十分だと言うつもりはまったくないが、間違ったことを言っているわけではない」と述べた。

実際に移植したのは区域外の一部だけだったため、首相の発言に批判が出ていた。立憲民主党の本多平直氏が「丁寧に説明すべきだった」と指摘すると、首相は「(自分が指摘した南側とは別の)北側は当然サンゴを移植する。『北側がどうか』となれば、護岸を閉め切る前にはちゃんとやると話すわけだが、(番組での)やりとりはそこで終わっている。他意があって言ったわけではなく、基本的に事実を言っている」と反論した。

「なぜ沖縄に冷たいのか」の指摘も 辺野古移設巡り激しい論戦 衆院予算委

毎日新聞 2019年2月20日 19時09分(最終更新 2月21日 01時47分)

辺野古移設を巡る政府と野党のやり取り

論点	野党の主張	政府の答弁
沖縄の民意	民意調査の結果に疑問。民意調査はあくまで参考であり、民意調査の結果をそのままに受け止めるべきではない。	普天間の固定化は避けたい。民意調査の結果を参考にしながら、民意調査の結果をそのままに受け止めるべきではない。
移設の必要性	普天間の固定化は避けたい。民意調査の結果を参考にしながら、民意調査の結果をそのままに受け止めるべきではない。	普天間の固定化は避けたい。民意調査の結果を参考にしながら、民意調査の結果をそのままに受け止めるべきではない。
「サンゴは移している」との指摘	移したのが区域外の一部だけだったため、首相の発言に批判が出ていた。	北側は当然サンゴを移植する。『北側がどうか』となれば、護岸を閉め切る前にはちゃんとやると話すわけだが、(番組での)やりとりはそこで終わっている。

辺野古移設を巡る政府と野党のやり取り

衆院予算委員会で米軍普天間飛行場の沖縄県名護市辺野古への県内移設問題について答弁する安倍晋三首相(右)＝国会内で2019年2月20日午前11時9分、川田雅浩撮影

20日の衆院予算委員会は、政府が進める米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古への移設を巡り、激しい論戦が交わされた。野党は、埋め立ての是非を問う県民投票(24日)の結果にかかわらず、移設を進めようとする政権の姿勢を批判。安

倍晋三首相は「普天間の固定化は避けなければならない」と強調した。

「首相と玉城デニー知事の一対一の会談は1回だけだ。なぜ沖縄に冷たいのか」。立憲民主党会派の江田憲司氏は、「普天間返還」の日米合意を成し遂げた故・橋本龍太郎首相は県知事と数十回会談したと指摘し、現政権の対応に疑問を呈した。江田氏は、橋本内閣で首相秘書官をつとめていた。

首相は「普天間の垂直離着陸輸送機オスプレイの訓練の県外移転も進めている。今後も、負担軽減に全力で取り組む」と反論。県民投票の結果は工事に影響するかの質問には、普天間飛行場の危険除去のため移設を急ぐとする政府方針に「変更はない」と語った。

立憲民主党の本多平直氏は、首相が1月のNHK番組で「あそこ(埋め立て海域)のサンゴは移している」と述べたことを追及。サンゴ7万4000群体のうち移植済みは1群体にとどまるため、本多氏が「丁寧に説明すべきだった」と迫ると、首相は「説明が常に十分と言うつもりはないが、間違ったことを言っているわけではない」と釈明した。

県民投票の結果によっては、春の衆院沖縄3区補選や夏の参院選に影響が及ぶ。投開票日が迫る中、与野党の攻防が激化した格好だ。【小山由宇】

しんぶん赤旗 2019年2月20日(水)

米軍外来機 離着陸 普天間基地 最多に 1月378回 「運用停止」遠く

米海兵隊普天間基地(沖縄県宜野湾市)での外来機(他の基地に所属する米軍機)の離着陸回数が、2017年4月の調査開始以来、最大になったことが防衛省沖縄防衛局の集計で判明しました。

それによれば、今年1月の同基地への外来機の離着陸回数は378回で、これまでで最高の216回(18年11月)を大きく上回りました。P8哨戒機(80回)、KC135空中給油機(64回)など、米空軍嘉手納基地(同県嘉手納町など)所属機が目立ちます。現在、同基地で滑走路の大規模改修を行っていることが影響しているとみられます。

「沖縄の負担軽減」を口実に、普天間から岩国基地(山口県岩国市)に移転したKC130空中給油機の離着陸も49回にのぼっています。

安倍政権は普天間基地の「2019年2月までの運用停止」を約束しましたが、米軍の自由勝手な運用を野放しにし、むしろ米軍機の飛行を激化させています。政府の責任が厳しく問われます。